

平成 21 年度 岩手県小・中学校における家庭学習に関する調査

中学校

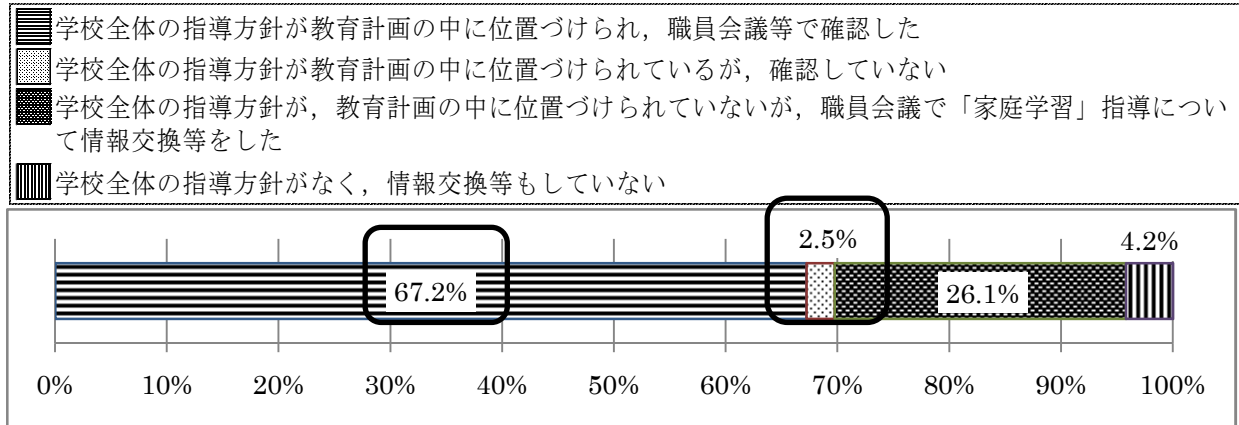
分析と考察

## (1) 「家庭学習」指導に対する学校方針について

「家庭学習」に対し、各学校がどのような方針や共通理解によって指導しているかを、【中学校教務主任調査】質問 17, 27, 30, 31, 33 を用いて考察する。

### 【中学校教務主任調査】質問 17

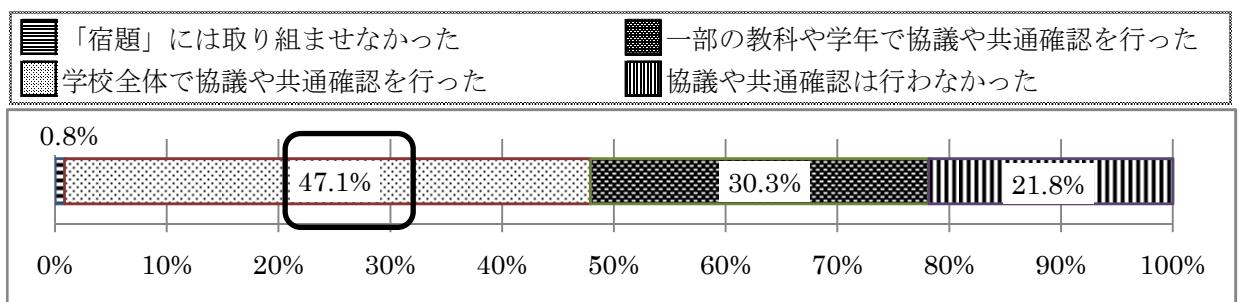
学校全体の「家庭学習」の指導方針があり、共通確認しましたか。



- ・学校全体の指導方針が教育計画の中に位置づけられている割合は、69.7%である。
- ・職員会議で情報交換等を行っている学校を含めると、95.8%が「家庭学習」に対しての方針を立てたり、共通理解を図ろうとしている。

### 【中学校教務主任調査】質問 27

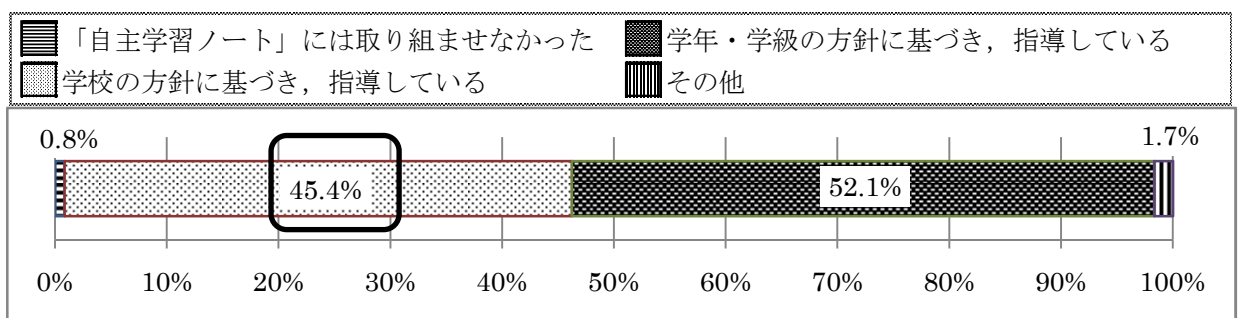
「宿題」の内容や出し方について、協議や共通確認を行いましたか。



- ・「宿題」の内容や出し方について、学校全体で協議や共通確認を行った中学校は、47.1%である。
- ・一部の教科や学年で行っている協議や共通確認は、学校の方針で行われる場合もあるが、多くは自主的な判断で行われていると推察される。

### 【中学校教務主任調査】質問 33

「自主学習ノート」は、学校または学年・学級の、どちらの方針で行いましたか。

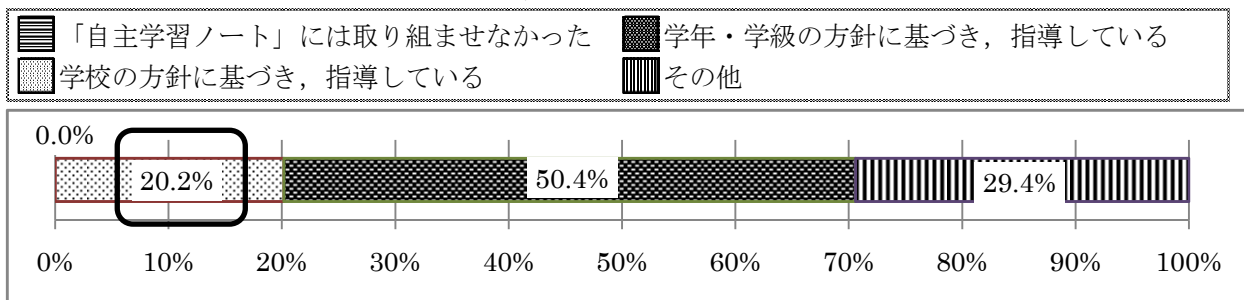


- ・「自主学習ノート」を、学校の方針に基づき指導しているのは 45.4% であり、学年・学級の方針に基づき指導している方が多い。

- ・「自主学習ノート」を実施することのみを学校の方針で決めて、指導の細部は学年や学級に一任している場合も多いと考えられる。

### 【中学校教務主任調査】質問 31

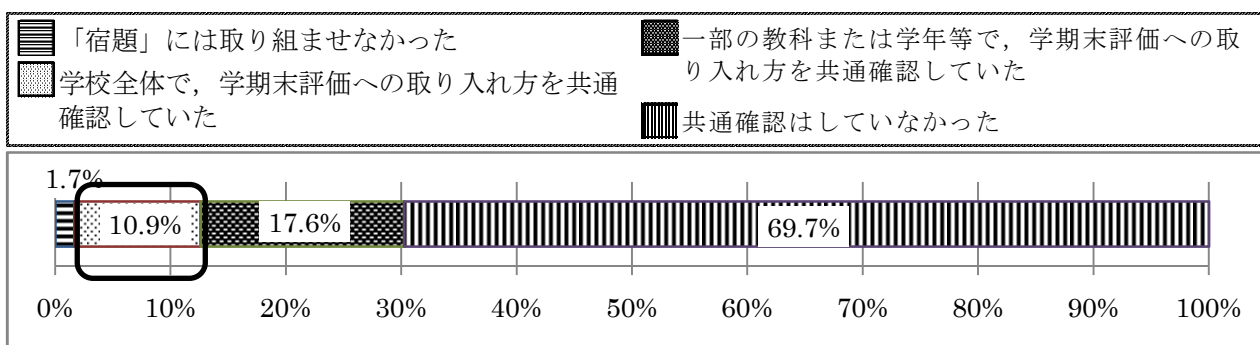
「宿題」未達成者への指導方法について、共通確認をしていましたか。



- ・「宿題」未達成者(「宿題を忘れてきた・やってこなかった生徒」)に対してどう指導していくかを、学校全体で共通確認している中学校は 20.2% である。
- ・学年・学級の方針、その他(教師個々等)の方針に任せている学校が、ほとんどである。

### 【中学校教務主任調査】質問 30

「宿題」の学期末評価への取り入れ方について、共通確認をしていましたか。



- ・「宿題」の提出率や内容評価をどのように学期末評価に取り入れるか(または取り入れないか)に関し、学校全体で共通確認しているのは 10.9% である。
- ・共通確認していないが 69.7% で、大勢を占める。

### 「家庭学習」指導に対する学校方針の現状に関する考察

「家庭学習」指導に対し、約7割の学校が学校全体で指導方針を位置づけ、共通確認を図っていると回答している。しかし、具体的な指導方法や確認事項になると、学校全体の割合が減少し、学年や教科に一任されている現状が明らかになった。

つまり、学校の「家庭学習」指導方針とは、多くはスローガンのようなものであり、実際の指導は、学年や教科に所属する教師個々が、それぞれの方針や判断によって行っていると考えられる。それが、非効率的な指導や指導不足を生んだりする要因となっているのではないか。

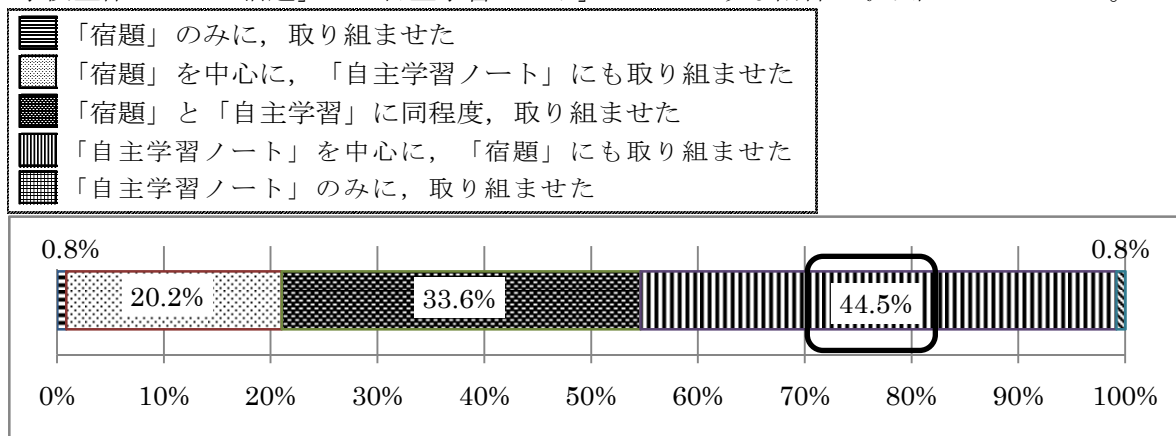
この状況を改善していくためには、「家庭学習」指導の具体的な方針を示す、また共通確認の中心となる組織や担当が必要である。それが校内に明確に位置づけられ、家庭と連携しながら継続的に活動していくことが重要と考える。

## (2) 「自主学習ノート」指導について

「自主学習ノート」の指導の実態について「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(16), 【中学校生徒調査】質問 13, 【中学校教務主任調査】質問 26, 39, 【中学校教科担任調査】質問 31 を用いて考察する。

### 【中学校教務主任調査】質問 26

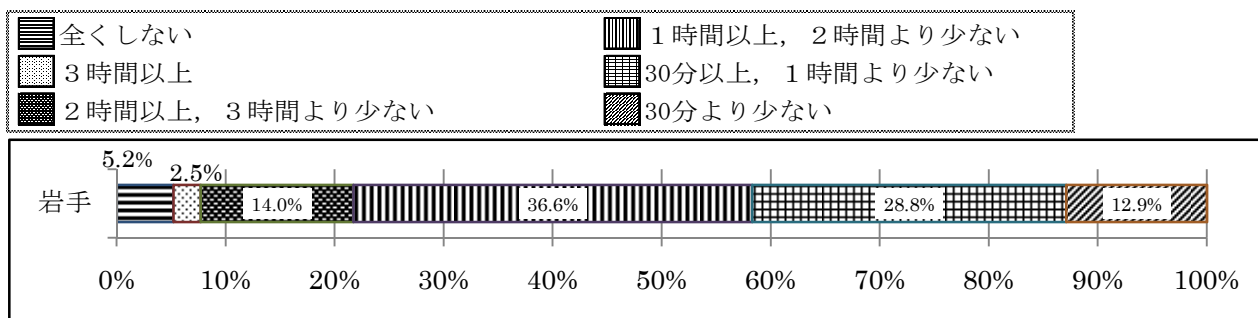
学校全体として「宿題」と「自主学習ノート」にどのような割合で取り組ませましたか。



- ・最も多い割合が「自主学習ノート中心」44.5%で、全体の半数近くを占める。
- ・次いで、「宿題と自主学習ノートを同程度」33.6%、「宿題中心」は、20.2%である。
- ・ほぼ 100%の学校が「自主学習ノート」「宿題」の両方に取り組んでいることになる。

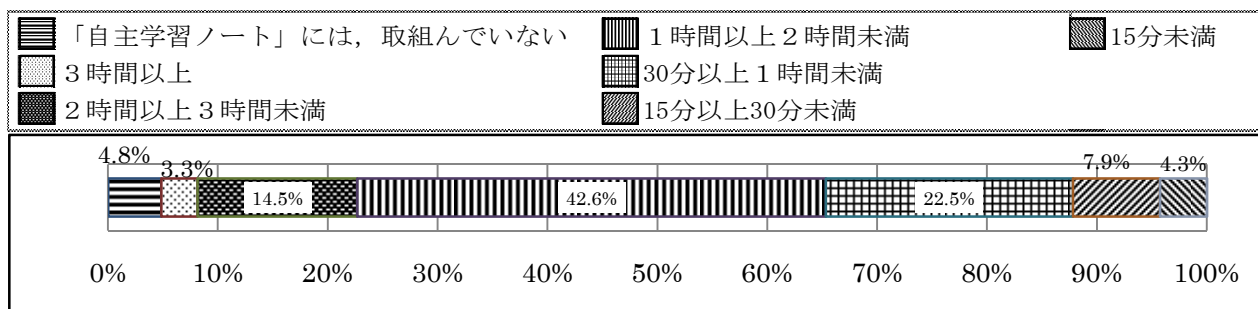
### 「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(16)

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしていますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)



### 【中学校生徒調査】質問 13

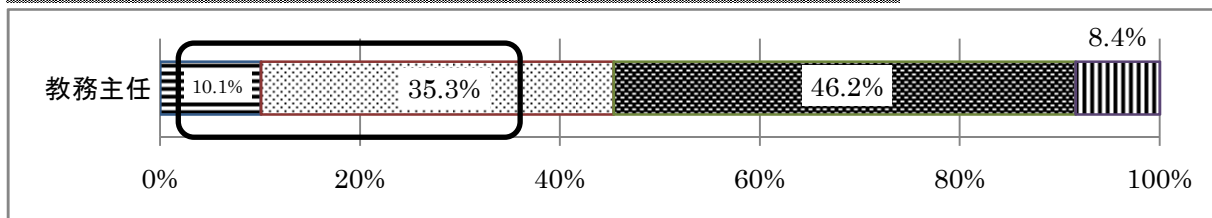
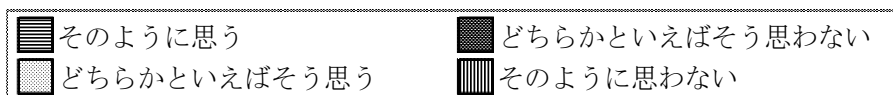
「自主学習ノート」の学習にかかる時間は、平日(月曜日から金曜日)、1日平均どれくらいでしたか。



- ・普段(月曜日から金曜日)の「家庭学習」時間と、「自主学習ノート」にかかる時間がほぼ一致する。「家庭学習」時間のほとんどが「自主学習ノート」に費やす時間であり、「宿題」を行っていたとしても、短時間ではないかと考えられる。

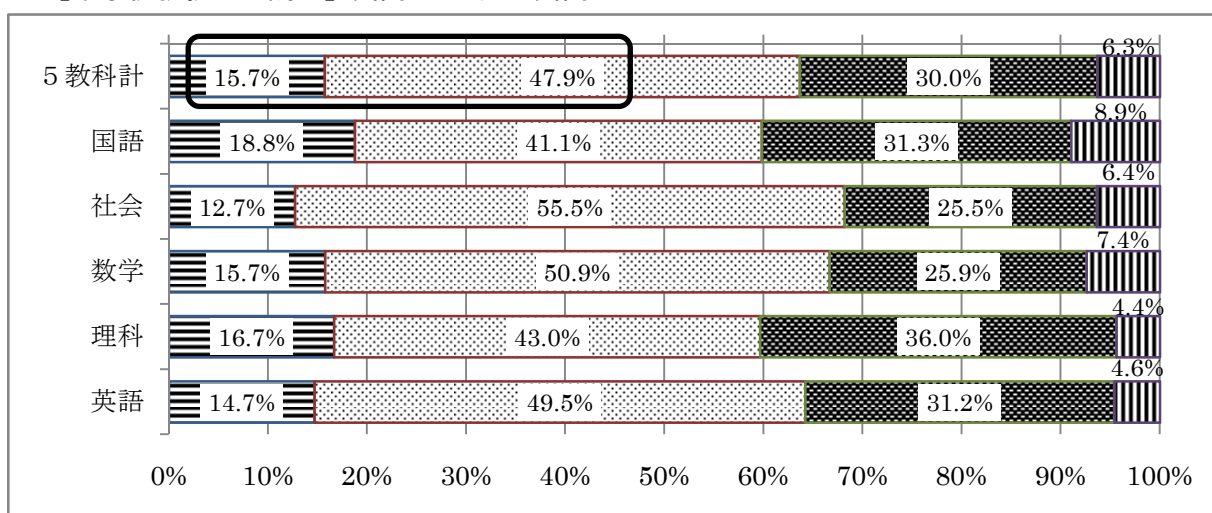
【中学校教務主任調査】質問 39

「自主学習ノート」は、「ノート提出のための学習になりがちで、学力向上に寄与していない」という声が聞かれます。このことについてどのように思いますか。回答者のお考えで選択してください。



【中学校教科担任調査】質問 31

【中学校教務主任調査】質問 39 と同じ質問



- ・「自主学習ノート」が学力向上に寄与していないという意見に同意を示したのが、教務主任では 45.4%(そのように思う、どちらかといえばそう思う)である。
- ・3年生5教科の教科担任で同意を示したのが、5教科計 63.6%である。
- ・教科担任の教科別による差異は、ほとんど見られない。

「自主学習ノート」指導に関する考察

教務主任調査によれば、県内半数近くの学校が「自主学習ノート」を「家庭学習」指導の中心としている。しかし、生徒調査では、全国学調の「家庭学習」時間と、本調査の「自主学習ノート」にかかる時間がほぼ合致している状況が見られ、実際は「家庭学習」時間のほとんどが「自主学習ノート」に占められていることがうかがえる。

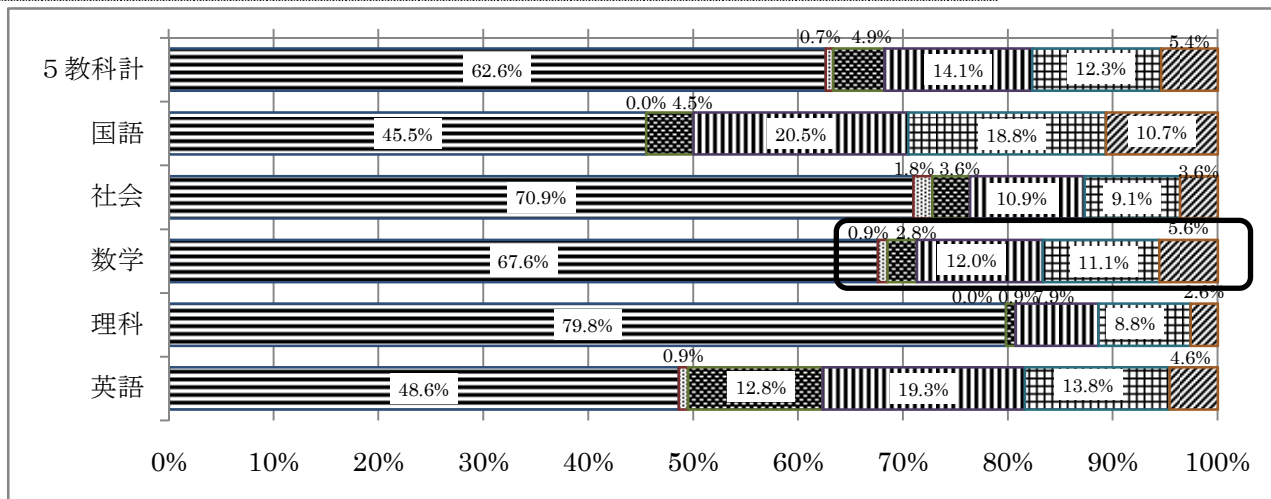
また、一方で「自主学習ノート」の学力向上に対する効果に関して、疑問を感じる教務主任・教科担任が予想以上に多かった。特に教科担任は63.6%と、2/3に近い。本県の学力向上を図る上でこれは重要な問題であろう。「自主学習ノート」にどのような指導が必要なのか、または今後どのような「家庭学習」指導を行っていくべきかなど、抜本的な見直しが必要と考える。

### (3) 数学の「宿題」指導について

「宿題」の指導の実態について【中学校教科担任調査】質問9, 12, 20を用いて考察する。

#### 【中学校教科担任調査】質問9

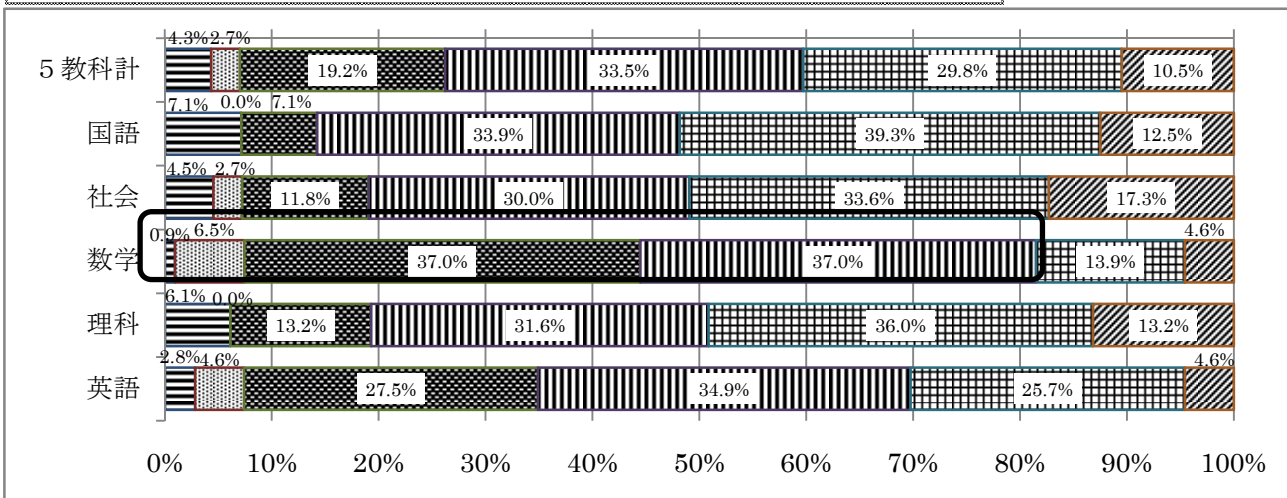
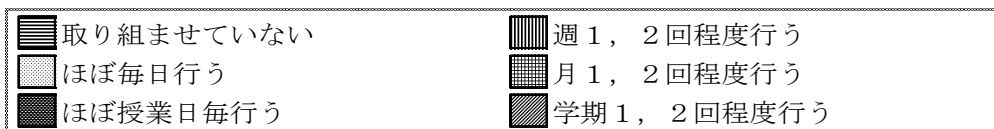
予習として問題を解く「宿題」に、どの程度取り組ませましたか。



- ・予習として問題を解く「宿題」に、学期に1回以上取り組んでいる割合で多く取り組んでいるのは、国語 54.5%、次いで英語 51.4%、数学 32.4%である。
- ・週1回以上(ほぼ毎日、ほぼ授業日、週1・2回)取り組んでいる割合では、英語 33.0%、次いで国語 25.0%、社会 16.3%、数学 15.7%である。

#### 【中学校教科担任調査】質問12

教科書・副教材・プリント・問題集で「問題演習」を行う「宿題」に、どの程度取り組ませましたか。

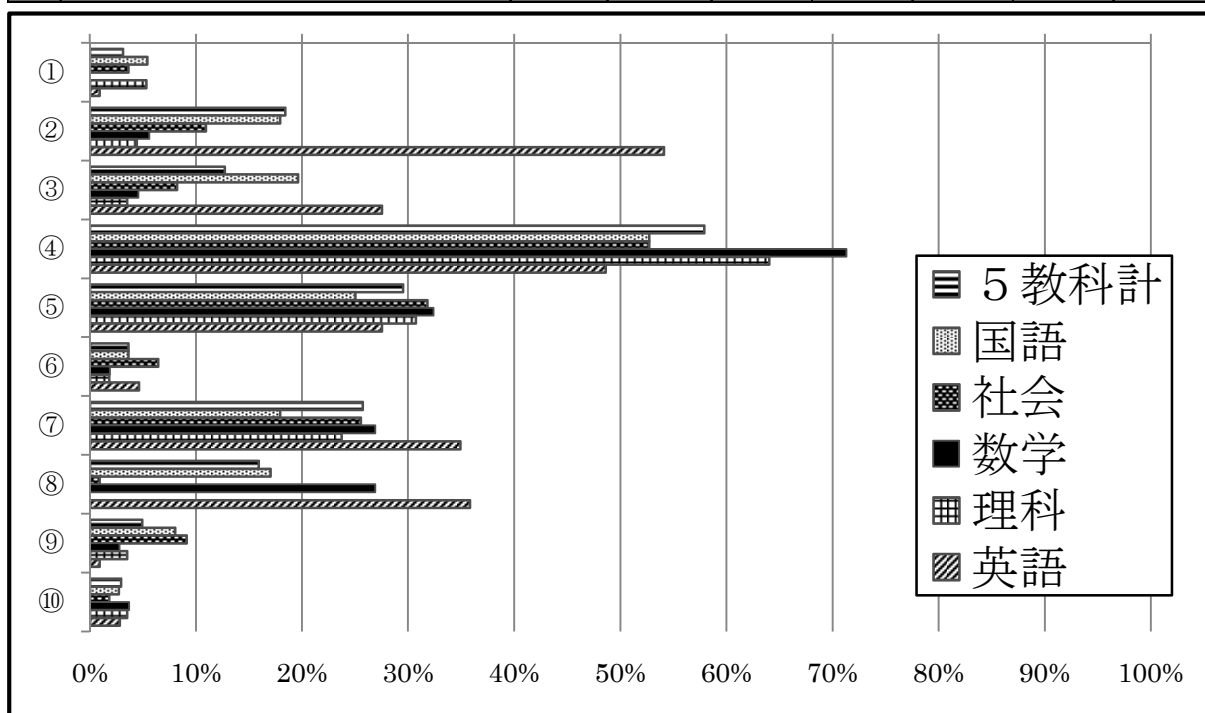


- ・「問題演習を」行う宿題には、5教科とも90%以上取り組ませている。
- ・週1回以上(ほぼ毎日、ほぼ授業日、週1・2回)取り組んでいる割合が多いのは、数学 80.5%、次いで、英語 67%である。

【中学校教科担任調査】質問 20

授業と「宿題」との連動を図るため、どのようなことを行いましたか。(複数回答可)

		教科	5教科計	国語	社会	数学	理科	英語
①	「宿題」に取り組ませなかった	回答数	17	6	4	0	6	1
		割合	3.1%	5.4%	3.6%	0.0%	5.3%	0.9%
②	授業の予習を「宿題」とし、定型的な学習法を指導した	回答数	102	20	12	6	5	59
		割合	18.4%	17.9%	10.9%	5.6%	4.4%	54.1%
③	予習を活かした授業の進め方を工夫した	回答数	70	22	9	5	4	30
		割合	12.7%	19.6%	8.2%	4.6%	3.5%	27.5%
④	授業の復習を「宿題」とし、定型的な学習法を指導した	回答数	320	59	58	77	73	53
		割合	57.9%	52.7%	52.7%	71.3%	64.0%	48.6%
⑤	復習を活かした授業の進め方を工夫した	回答数	163	28	35	35	35	30
		割合	29.5%	25.0%	31.8%	32.4%	30.7%	27.5%
⑥	発展学習的な「宿題」を出し、それを活かした授業の進め方を工夫した	回答数	20	4	7	2	2	5
		割合	3.6%	3.6%	6.4%	1.9%	1.8%	4.6%
⑦	授業で「習得」した知識・技能を「活用」する「宿題」を出した	回答数	142	20	28	29	27	38
		割合	25.7%	17.9%	25.5%	26.9%	23.7%	34.9%
⑧	Gアップシート(Gベースを含む)を「宿題」及び授業に活用した	回答数	88	19	1	29	0	39
		割合	15.9%	17.0%	0.9%	26.9%	0.0%	35.8%
⑨	連動を図るための指導は行っていない	回答数	27	9	10	3	4	1
		割合	4.9%	8.0%	9.1%	2.8%	3.5%	0.9%
⑩	その他	回答数	16	3	2	4	4	3
		割合	2.9%	2.7%	1.8%	3.7%	3.5%	2.8%



- ・②、③の予習に関する項目において、予習が難しいとされる理科を除くと、数学が最も低い割合を示した。予習を「宿題」としたり、予習を活かした授業を行っているのはごくわずかということになる。
- ・一方、復習に関しては、④、⑤とも数学が最も高い割合を示している。

「宿題」指導に関する考察

数学科における「宿題」指導が、極端に「復習重視型」であることが明らかになった。問題演習を中心とした復習的な「宿題」は、ほとんどの教科担任が定期的に出している。しかし、予習する宿題はほとんど出されず、授業を進める中にも組み込まれていない。

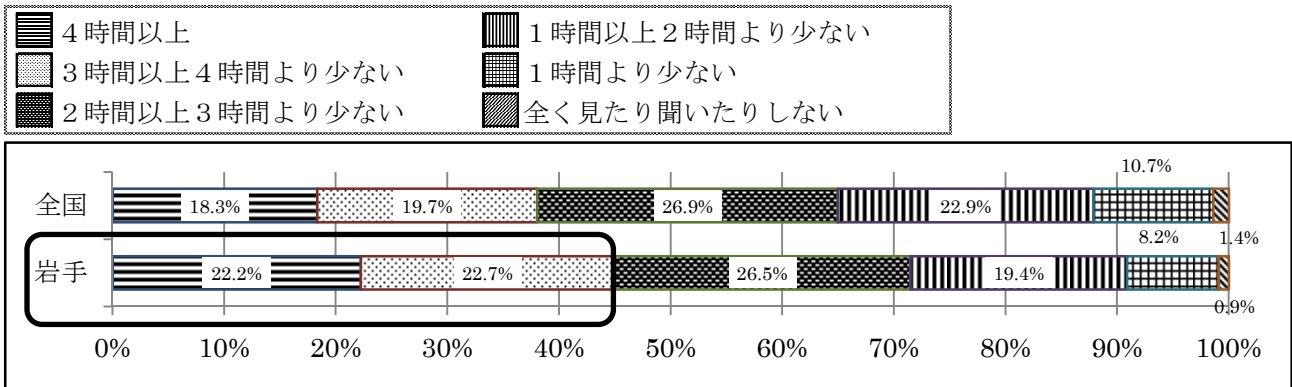
「わかる授業」が、学力向上への出発点であるはずだが、復習のみの「宿題」(家庭学習)で充分なのか、検討してみる必要があるのではないかと考察されている。

#### (4) 「ながら勉強」について

「ながら勉強」、いわゆるテレビを見ながらの「家庭学習」の現状について、「平成 21 年度全国学力・学習状況調査報告書」質問(12), 【中学校生徒用調査】質問 21, 【中学校保護者用調査】質問 5・14 を用いて考察する。

##### 「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」質問紙調査(中学校 3 年生) 質問(12)

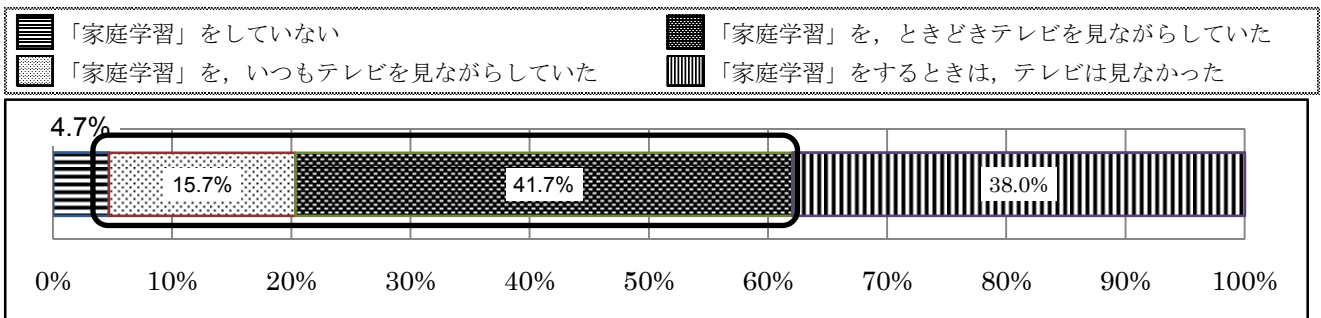
普段(月～金曜日), 1 日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVD を見たり, 聞いたりしますか。



- ・本県(岩手)中学校 3 年生のテレビ視聴時間は, 視聴時間が 3 時間以上の合計が全国平均 38% に対し, 本県 44.9% と長い。
- ・テレビ視聴時間の長さから, 「ながら勉強」をしている生徒が多いのではないか, という懸念がされていた。

##### 【中学校生徒調査】質問 21

「家庭学習」をするときは, テレビが気になりましたか。



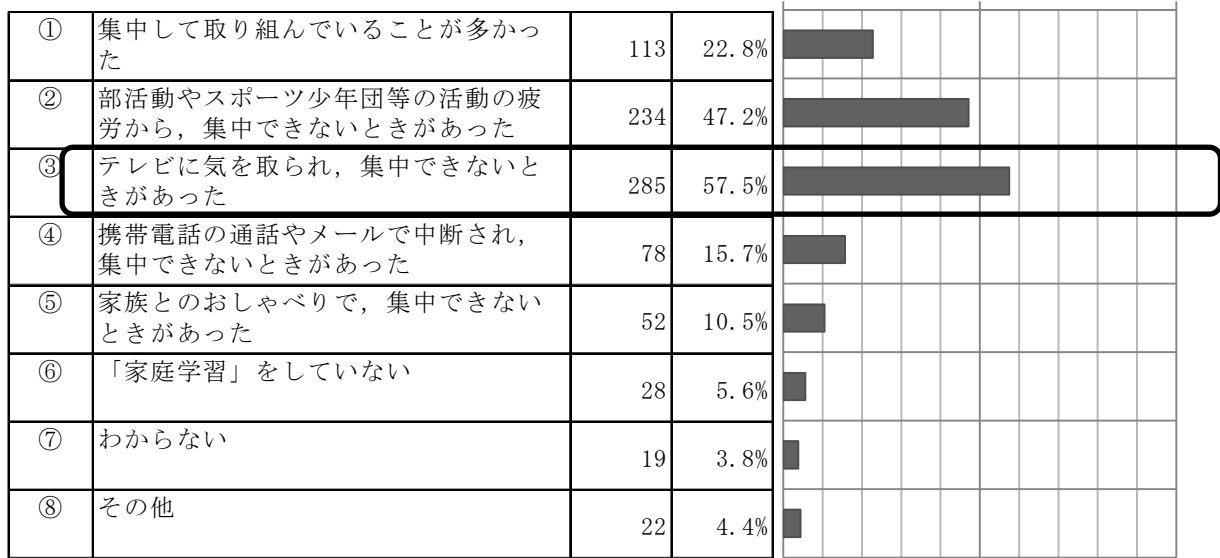
- ・「いつもテレビを見ながらしていた」(15.7%), 「ときどきテレビを見ながらしていた」(41.7%) を合計すると, 全体の 57.4% がテレビを見ながらの「家庭学習」を行っていることが, 本調査により明らかになった。
- ・今回の「平成 21 年度岩手県小・中学校における家庭学習に関する調査」小学校調査では, 同じ質問で「ながら勉強」をしている割合が 76.2% であった。



【中学校保護者調査】質問 5

お子さまは、「家庭学習」に集中して取り組んでいましたか。

(回答は、いくつ選んでもかまいません。)

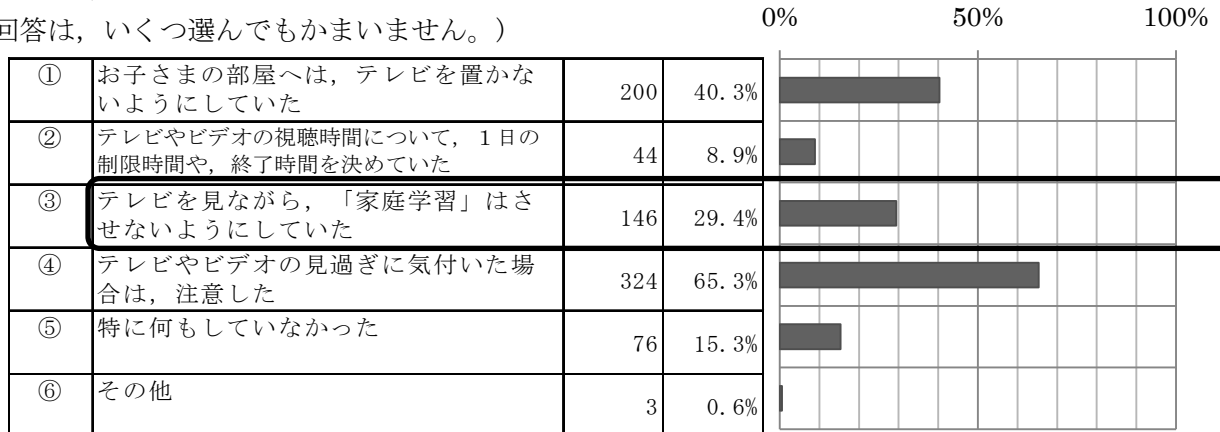


- ・「家庭学習」の集中を阻害する要因として、保護者が最も多く回答したのが、「テレビに気を取られ、集中できないときがあった」(57.5%)である。

【中学校保護者調査】質問 14

お子さまのテレビやビデオの見かたについて、家庭でルールを作っていたこと、または心がけていたことなどを選んでください。

(回答は、いくつ選んでもかまいません。)



- ・「テレビやビデオの見過ぎに気付いた場合は、注意した」(65.3%)が、多く回答されてはいるが、「テレビを見ながら、『家庭学習』はさせないようにしていた」(29.4%)と、「家庭学習」でのルールとして、「ながら勉強」を禁じている家庭は多くはない。

「ながら勉強」に関する考察

「ながら勉強」を行っている生徒は、小学校 76.2%から比べると、中学校 57.4%と減少はしているが、まだ半数以上にのぼっている。それは、家庭学習の妨げになっていると保護者も心配している。

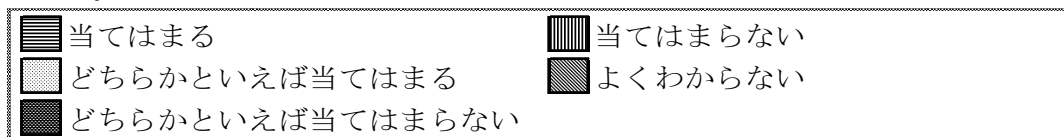
しかし、一方で厳密に「ながら勉強」を完全に禁じられている家庭も多くない。家庭的な事情も考えられるが、学習と余暇のけじめをつける重要さを生徒・保護者双方に伝えるなど、各家庭の協力を得ながら指導を進める必要がある。

## (5) 保護者が求める「家庭学習」指導

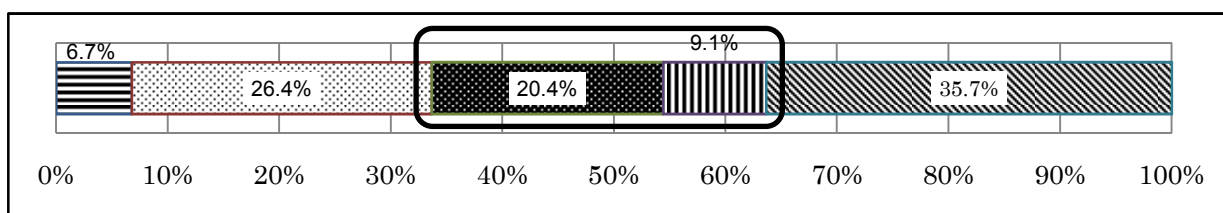
保護者が求める「家庭学習」指導について、【中学校保護者用調査】質問9・10、【中学校教務主任調査】質問20を用いて考察する。

### 【中学校保護者調査】質問9

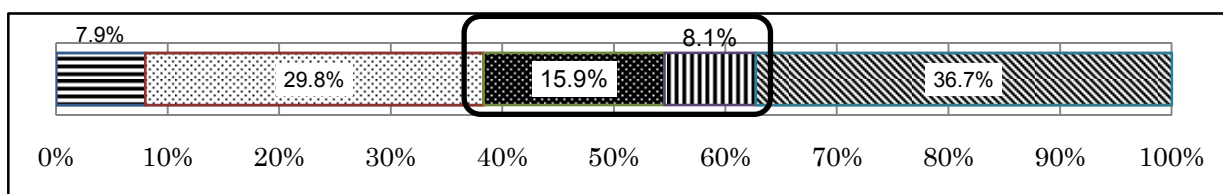
お子さまへの学校からの「家庭学習」指導に対して、どのように思っていましたか。当てはまるものを選んでください。



(3) 子どもの学習意欲を引き出す「家庭学習」が出されている



(4) 丁寧な事後指導や評価がされている



- ・質問9(3)「子どもの学習意欲を引き出す『家庭学習』が出されている」においては、よくわからないを除いた64.3%の中で、29.5%が、否定的な回答(どちらかといえば当てはまらない, 当てはまらない)である。
- ・質問9(4)「丁寧な事後指導や評価がされている」においては、よくわからないを除いた63.3%の中で、24.0%が、否定的な回答(どちらかといえば当てはまらない, 当てはまらない)である。

### 【中学校保護者調査】質問10

その他、中学校の「家庭学習」指導に対し、思っていたことがあればお書きください。

#### アンケート調査結果【中学校保護者用調査】質問10 参照

- ・自由記述であったが、全体の約1割(52名/回答者496名中)の保護者よりご意見をいただいた。
- ・回答の9割以上が、学校の「家庭学習」指導に対する、疑問や批判、改善を求める内容であった。
- ・意見の内容としては
  - ①主に指導方法に関するもの(16件)
    - 「本来、授業内ですべきことを持ち帰ってやらせていないだろうか。やらずにためてしまう前に手を打つことはできないか。」
    - 「特に数学に関して自分で理解するまできめ細かな指導をして欲しい。説明に対して、理解できない点があるようです。」
    - 「子供まかせになっている。学習意欲を引き出すような、受験対策になるような教材を提供、指導してほしい。」他

②主に課題内容や量に関するもの(11件)

「片手間で済ませられる程度の量、内容(本人にとって)である。それには集中して取り組んでいるが、それ以上を目指す努力には結びついていない。結果現状で良しとしている。」

「もっと課題プリントを出すなり、その後も本人が理解するまで指導が欲しかった」他

③主に自主学習に関するもの(7件)

「学習に対してのアドバイス等があるのでしょうか。自学もページ数さえこなしていればいいという感じがする。」他

④主に評価や事後指導に関するもの(9件)

「ハンコ一つで終わりという日がかかなりあり、当人から見れば指導されていないと思っていた」

「フォローがほとんどなく、評価もされず残念」他

⑤家庭との連携に関するもの(9件)

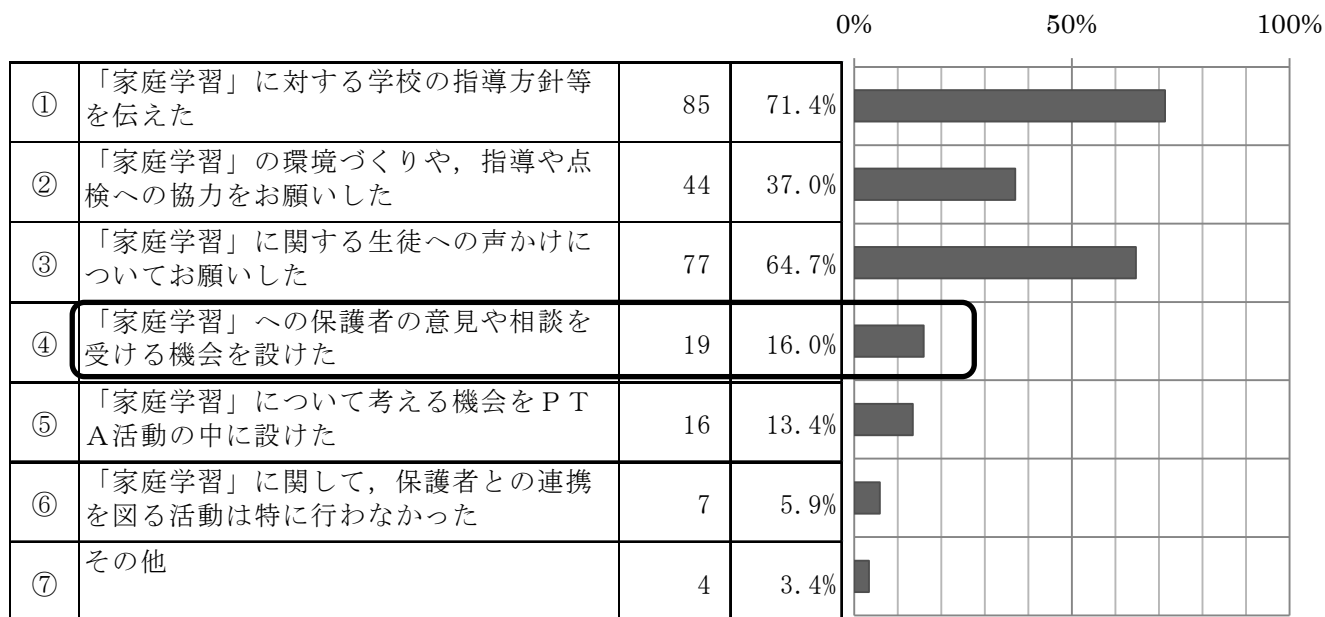
「何をやってくるか、何をやらせたら良いのかよくわからない。」

「家族が関わりを持てるような工夫があればと思う」他

・これらの意見や要望が、学校に対して直接伝えることができていないと推測される。

【中学校教務主任調査】質問 20

「家庭学習」に関して、保護者との連携を図るためにどのような活動を行いましたか。(複数回答可)



・保護者との連携において、①「指導方針を伝える(71.4%)」、③「声かけをお願いする(64.7%)」などは、高い割合を示した。

・④「保護者の意見や相談を受ける」は、16.0%と低い割合を示した。

保護者が求める「家庭学習」指導に関する考察

多くの保護者が、「家庭学習」指導における課題の出し方や評価の在り方など、様々な点に疑問や不満を抱いている事が明らかになった。

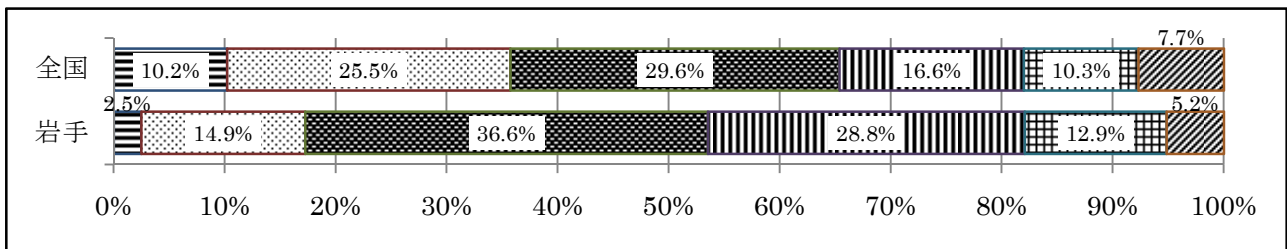
さらに問題は、それら保護者の声が学校に届き、学校がその声を受け入れ指導に生かそうとしているかということである。学校の方針やお願いを積極的に伝えようとすることに比べ、保護者の意見や要望を聞き入れ、取り入れようとする努力が依然として不足しているのではないだろうか。

## (6) 部活動・スポーツ少年団活動の「家庭学習」への影響について

「家庭学習」充実に向けた、部活動・スポーツ少年団活動への働きかけについて、「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」質問紙調査(中学校 3 年生) 質問(16), 【中学校生徒調査】質問 5, 【中学校保護者調査】質問 5, 【中学校教務主任調査】質問 24 を用いて考察する。

### 「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」質問紙調査(中学校 3 年生) 質問(16)

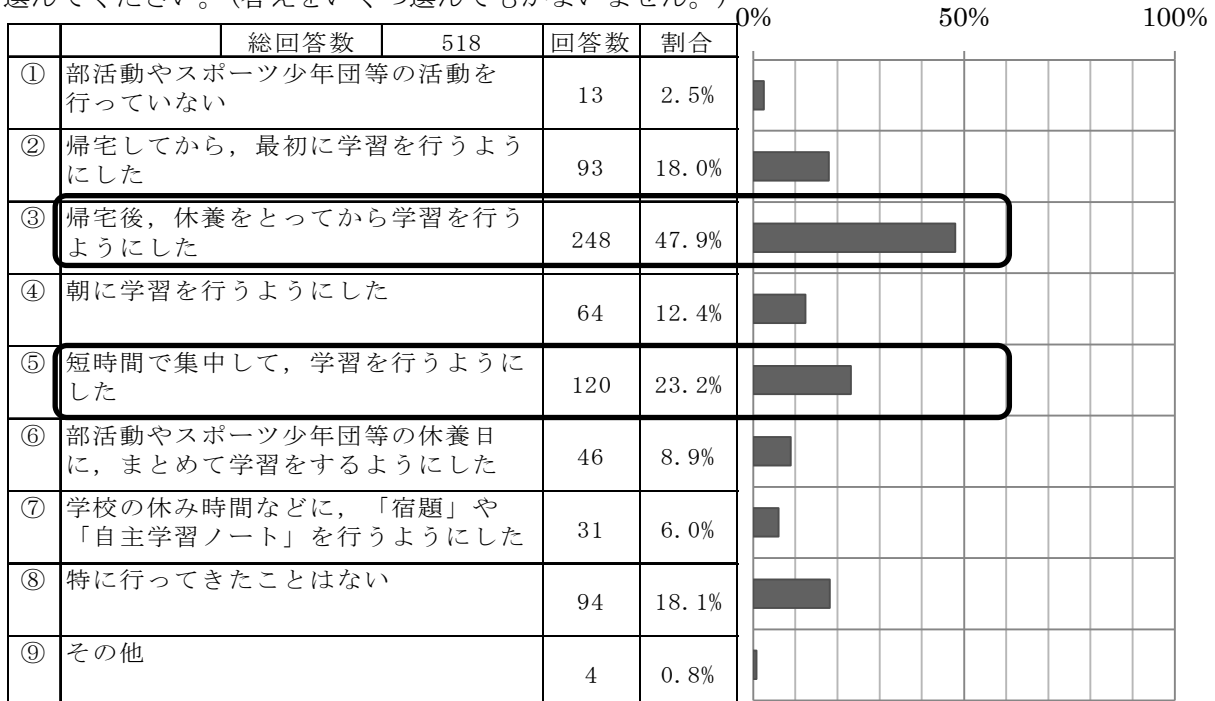
学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日) 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)



・普段 1 日あたりの岩手の「家庭学習」時間は、全国平均に比べ、2 時間以上の学習をする割合が半分程度である。

### 【中学校生徒調査】質問 5

部活動やスポーツ少年団等の活動と「家庭学習」を両立させるために、あなたが行ってきたことを選んでください。(答えをいくつ選んでもかまいません。)

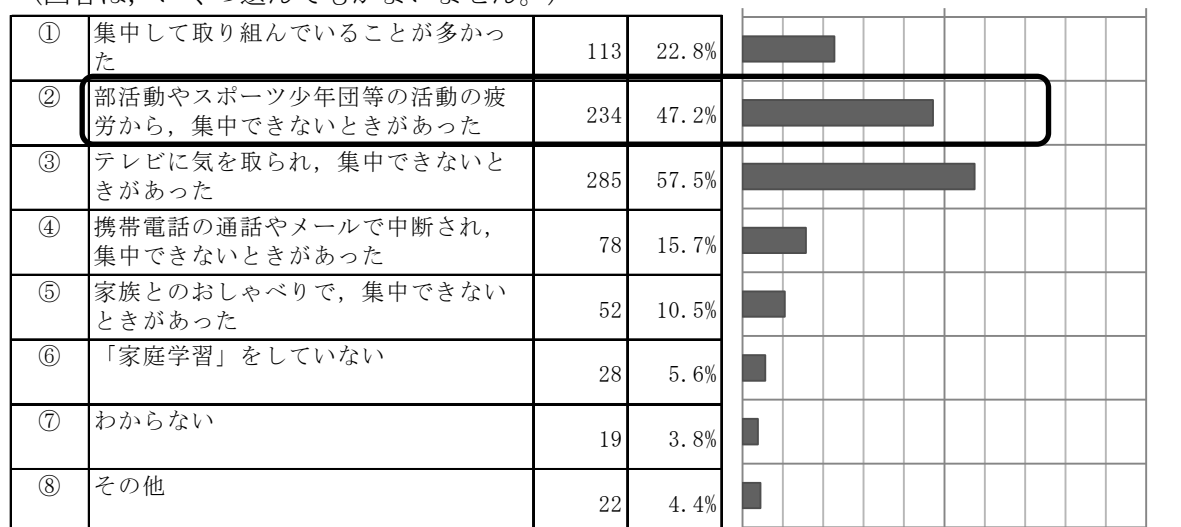


- ・部活動やスポ少活動から帰宅後、休養をとってから学習を行っている生徒が 47.9% である。
- ・短時間に集中して学習を行おうとしていた生徒が、23.3% である。

### 【中学校保護者調査】質問 5

お子さまは、「家庭学習」に集中して取り組んでいましたか。

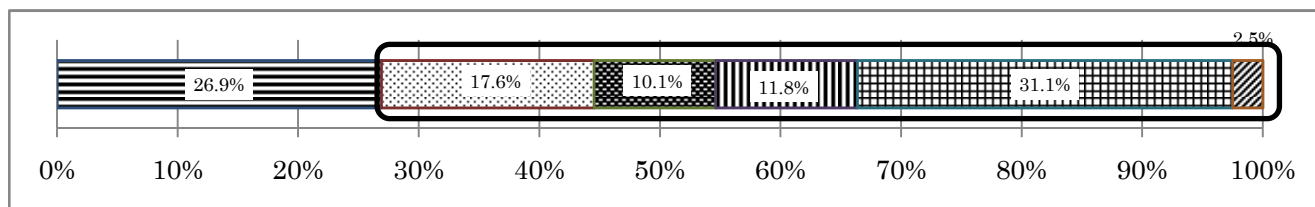
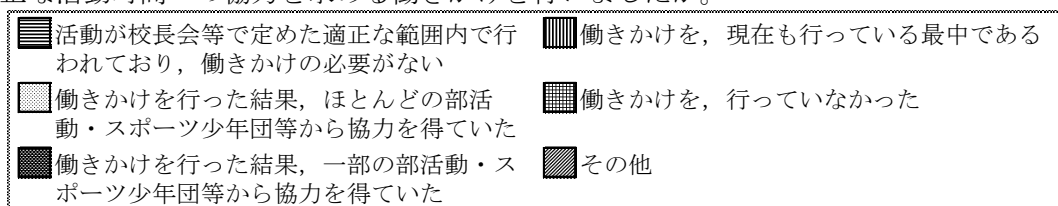
(回答は、いくつ選んでもかまいません。)



- ・家庭学習の集中を妨げるものとして、部活動・スポーツ少年団等からの疲労を 47.2% の保護者があげた。

### 【中学校教務主任調査】質問 24

「家庭学習」充実のため、部活動の外部コーチやスポーツ少年団等の指導者、また各父母会に対し、適正な活動時間への協力を求める働きかけを行いましたか。



- ・「家庭学習」充実のため、活動時間への協力を求める働きかけの必要がない学校が 26.9% であり、働きかけの必要があったクラブやスポーツ少年団を有していた学校が 73.1% である。
- ・働きかけの必要があった 73.1% の中で、実際に働きかけを行ったのが 42.0% で、行わなかったのが、31.1% である。

#### 部活動・スポ少活動等の「家庭学習」への影響に関する考察

全国学調で、本県中学生の「家庭学習」時間の不足、特に長時間学習する生徒の少なさが上げられたが、その背景としてテレビ視聴時間の長さや、部活動やスポ少活動等が考えられる。

部活動やスポ少活動等では、生徒自らも「家庭学習」との両立を目指した努力を行っているが、疲労によって、家庭学習を充分に行えない生徒もいる。各学校ではそれらの問題を把握し取組を行おうとはしているが、様々な状況から十分な働きかけができないと考えられる。

重要なのは、全ての関係者が部活動・スポ少活動と「家庭学習」、それぞれの意義を十分にとらえ、帰宅後に計画的・継続的な家庭学習に取り組めるよう、時間の使い方を工夫することであると考える。また適度な休養を大切に、何よりも健康でリズムある生活づくりの中で、それぞれの活動に努めさせることではないか。